

2023年3月期 第2四半期 第77期

# 決算説明

2022年10月27日発表



**ペガサスマシン製造株式会社**  
**【証券コード:6262】**

- 2023年3月期 第2四半期 連結決算概況…………… 3
- 2023年3月期 連結業績予想…………… 13
- ペガサス・サステイナブル・プラン …………… 18
- 参考資料 …………… 22
- 会社概要 …………… 25

# 2023年3月期 第2四半期 連結決算概況

---

- ✓ 中国ゼロコロナ政策による部品調達・生産活動等への影響
- ✓ ロシアのウクライナ侵攻などによる世界的なインフレ
- ✓ 国際輸送の混乱及び輸送費高騰の長期化

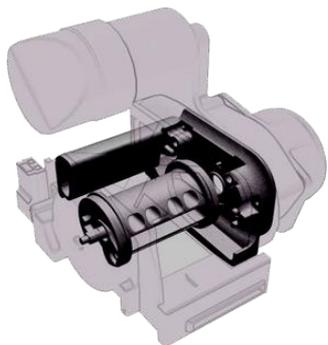
## 工業用マシン事業

- ✓ 世界的なアパレル需要はインフレの影響を受け縮小傾向
- ✓ 米州での消費地近隣諸国からの発注が継続

## オートモーティヴ事業（前ダイカスト部品事業）

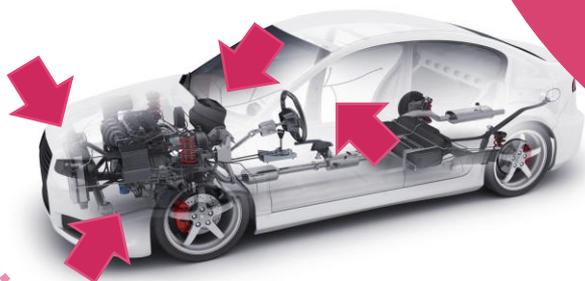
- ✓ 原材料価格の高止まり
- ✓ 部品（半導体等）調達の遅れによる自動車減産
- ✓ メキシコでの中・小型ダイカスト部品需要の継続

# 事業別売上比率



ダイカスト製品例イメージ図

ダイカスト製品  
使用部位例



オートモーティヴ  
21.7%

連結売上高  
13,349百万円

工業用マシン  
78.3%



工業用オーバーロックマシン



工業用偏平縫いマシン

# 連結業績概況



単位：百万円（百万円未満切り捨て）

（※カッコ内は為替要因除外比）

	前2Q	当2Q	増減額	増減率
売上高	9,568	13,349	+3,780 (+2,246)	+39.5% (+23.5%)
工業用マシン	7,688	10,456	+2,768 (+1,592)	+36.0% (+20.7%)
オートモーティヴ	1,880	2,892	+1,012 (+653)	+53.8% (+34.8%)
営業利益	715	1,905	+1,189	+166.2%
経常利益	702	2,451	+1,749	+249.2%
税前利益	691	2,452	+1,761	+254.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	470	1,740	+1,269	+269.6%

## 工業用マシン事業

単位：百万円（百万円未満切り捨て）

10,456

欧州にてウクライナ情勢や世界的なインフレ進行等による景気の減速がみられたものの、南アジアと中米での活発な設備投資需要にけん引され、その他アジア・米州での売上げが堅調に推移。

7,688



前2Q



当2Q

中国

1,679百万円  
前年同期比：+1.2%

日本  
その他アジア

5,899百万円  
前年同期比：+48.6%

米州

2,139百万円  
前年同期比：+73.2%

欧州

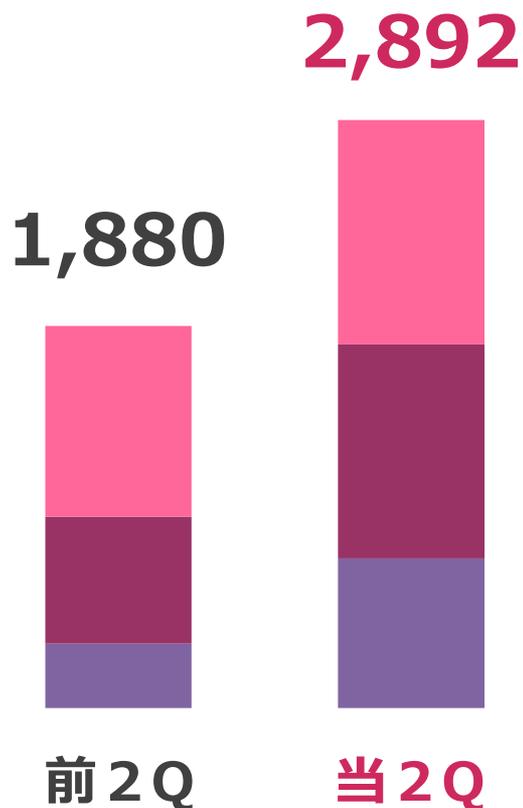
738百万円  
前年同期比：▲10.5%

- ・販売台数：+14.7%
- ・平均単価：+17.7%  
(為替要因除外：+4.4%)

## オートモーティブ事業

単位：百万円（百万円未満切り捨て）

前四半期に続き、全拠点において前年同期比増収。特に、現地調達化が進んだこと等により、半導体不足に起因する自動車減産の影響で立ち上がりが遅れていたメキシコ工場が軌道に乗り、売上げが好調。



中国

1,102百万円

前年同期比：+17.5%

その他  
アジア

1,054百万円

前年同期比：+68.7%

米州

735百万円

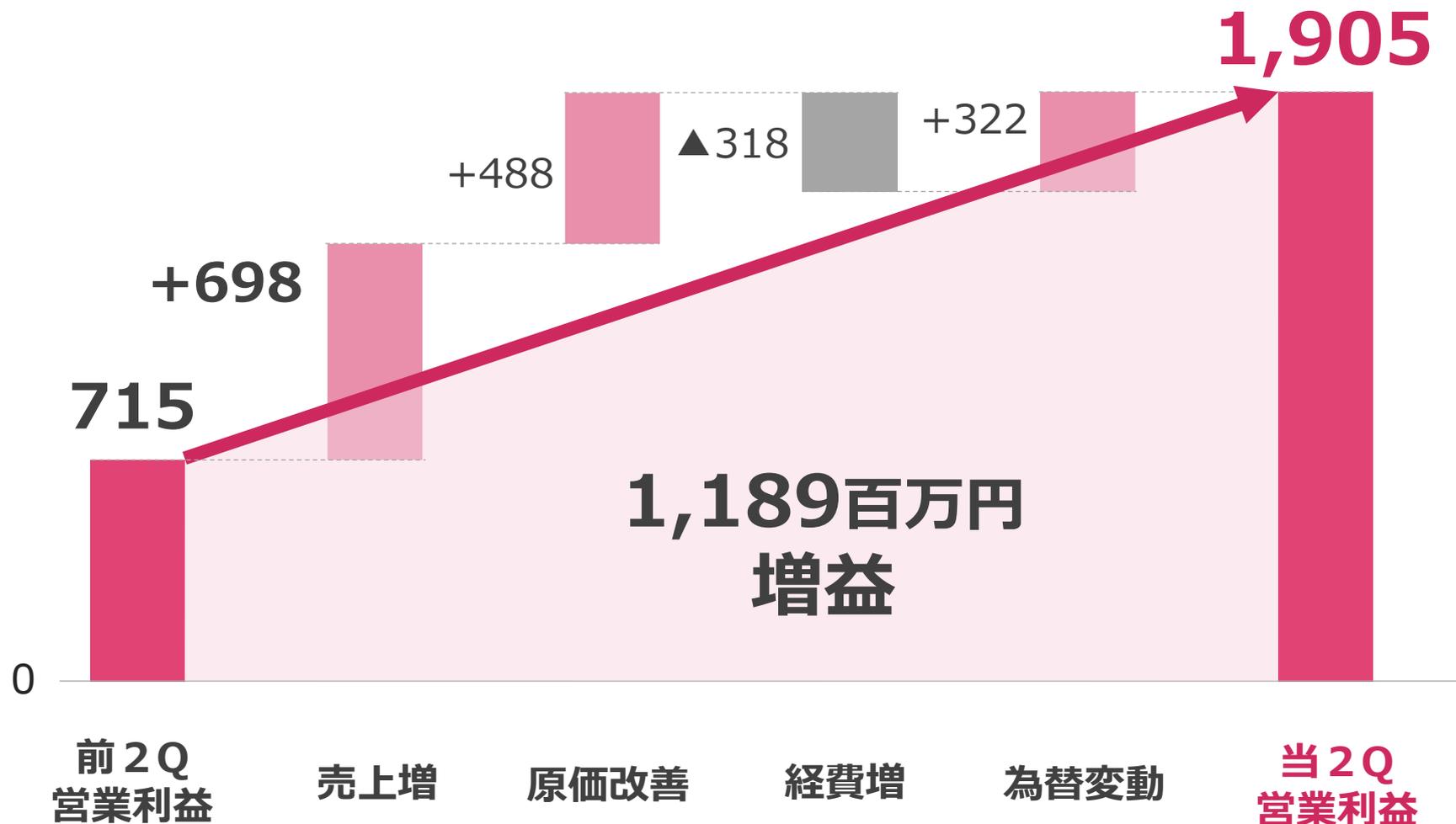
前年同期比：+132.1%

# 営業利益増減要因



輸送費高騰等による経費の増加があったものの販売の増加  
及び為替の影響などにより増収増益

単位：百万円（百万円未満切り捨て）



# 連結貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切り捨て）

	前期末	当2Q	増減額	主な増減要因
流動資産	25,472	28,738	+3,266	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現金及び預金 +435</li> <li>・受取手形及び売掛金 +1,423</li> </ul>
固定資産	9,661	10,950	+1,289	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有形固定資産 +1,141</li> <li>・無形固定資産 +73</li> <li>・投資その他の資産 +73</li> </ul>
資産合計	35,133	39,688	+4,555	

	前期末	当2Q	増減額	主な増減要因
流動負債	6,700	6,687	▲13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支払手形及び買掛金 ▲1,196</li> <li>・短期借入金 +615</li> </ul>
固定負債	3,066	2,875	▲190	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期借入金 ▲169</li> </ul>
純資産	25,366	30,125	+4,758	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利益剰余金 +1,418</li> <li>・為替換算調整勘定 +3,184</li> </ul>
負債純資産合計	35,133	39,688	+4,555	

※主要科目の主な増減について記載

(百万円未満切り捨て)

	前期末	当2Q
自己資本 (百万円)	24,599	<b>29,200</b>
自己資本比率 (%)	70.0	<b>73.6</b>

	前期末	当2Q
BPS (円)	991.49	<b>1,176.93</b>
期末株価 (円)	595	<b>862</b>
PBR (倍)	0.60	<b>0.73</b>

(百万円未満切り捨て)

	前2Q	当2Q
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	470	<b>1,740</b>
EPS (円)	18.98	<b>70.16</b>

単位：百万円（百万円未満切り捨て）

	前2Q	当2Q	増減額
設備投資額	397	680	+282
減価償却費	401	452	+51
研究開発費	185	222	+37

## <主な設備投資状況>

単位：百万円（百万円未満切り捨て）

会社名	内容	累計投資額
PEGASUS VIETNAM SEWING MACHINE CO., LTD.	生産増強に向けた土地 使用権の取得等	165
PEGASUS AUTO PARTS MONTERREY S.A. DE C.V.	生産設備の新設等	138
南通ペガサス自動車部品製造 有限公司	生産設備の新設等	166

# 2023年3月期 (第77期) 連結業績予想

---

## 事業環境

- ✓ 予想を上回る急激な円安進行
- ✓ ロシアのウクライナ侵攻などによる世界的なインフレ
- ✓ 中国ゼロコロナ政策の長期化

## 工業用マシン事業

- ✓ ポストコロナを見据えた製品ラインナップの拡充  
（多様化する素材への対応等）
- ✓ JUKI株式会社との事業提携による新興国市場の開拓

## オートモーティヴ事業（前ダイカスト部品事業）

- ✓ 原材料費の高止まり
- ✓ 部品（半導体等）調達の遅れによる自動車減産

## 通期業績予想、進捗（百万円）

### 連結

業績予想	通期予想	中間実績	進捗率	前期通期実績	増減率	増減額
売上高	23,660	13,349	56.4%	20,498	+15.4%	+3,162
営業利益	2,350	1,905	81.1%	1,847	+27.2%	+503
経常利益	2,360	2,451	103.9%	1,941	+21.6%	+419
当期純利益	1,740	1,740	100.0%	1,572	+10.7%	+168

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益

### 事業別

売上高予想	通期予想	中間実績	進捗率	前期通期実績	増減率	増減額
工業用マシン	18,480	10,456	56.6%	16,482	+12.1%	+1,998
オートモーティブ	5,180	2,892	55.8%	4,015	+29.0%	+1,165

## 事業別所在地別セグメント 通期業績予想、進捗（百万円）

## 工業用マシン事業

売上高予想	通期予想	中間実績	進捗率	前期通期実績	増減率	増減額
中国	3,115	1,679	53.9%	2,886	+7.9%	+228
日本・その他アジア	10,190	5,899	57.9%	9,355	+8.9%	+834
米州	3,495	2,139	61.2%	2,653	+31.7%	+841
欧州	1,680	738	44.0%	1,587	+5.8%	+92

## オートモーティブ事業

売上高予想	通期予想	中間実績	進捗率	前期通期実績	増減率	増減額
中国	2,195	1,102	50.2%	2,004	+9.5%	+190
その他アジア	1,665	1,054	63.4%	1,235	+34.7%	+429
米州	1,320	735	55.7%	774	+70.3%	+545

## 設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位：百万円 ※百万円未満切り捨て)

	前期実績	通期予想	増減額
設備投資額	755	1,159	+403
減価償却費	832	768	▲64
研究開発費	400	715	+314

# ペガサス・サステイナブル・プラン

---

## 持続可能な社会の発展に向けた、社会的課題の解決に向けて

優先課題：アウトサイドインを起点に当社が取り組む課題を検討。事業活動での実践に取り組んでまいります。

### E 環境



環境負荷低減への貢献

### S 社会



労働環境改善への貢献  
ダイバーシティ

### G ガバナンス

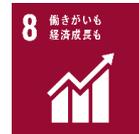
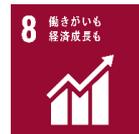


取締役会における多様性  
社外取締役の構成

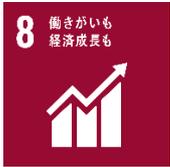
当社は、創業当時より、企業理念である『「人」と「技術」を通じて、よりよい製品・サービス・品質の提供に取り組む、社会の発展に貢献すること』に基づき、社会や地球環境の持続可能性の重要性を踏まえたうえで経営基本方針を策定し、日々の事業活動を通じて社会的課題の解決に取り組んでまいりました。これからも企業理念の精神に基づいた事業活動を通じて、持続可能な社会の発展につなげてまいります。

# ペガサス・サステイナブル・プラン

## これまでの活動

ESG	取り組み課題	主な活動	関連するSDGs
環境 (E)	環境負荷低減への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ性能の高い小型モーターの開発</li> <li>・生産部材の効率的な運用手法の再構築</li> <li>・ダイカスト生産現場のグリーンな環境整備(汚水浄化・大気汚染物質削減設備設置)</li> <li>・環境性能の高い新本社ビル</li> <li>・マシン付属説明書の電子化による資源削減</li> </ul>	       
社会 (S)	労働環境改善への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様の安全や使いやすさに配慮した、ユーザーフレンドリーな製品の開発(操作性向上によりオペレーターの作業軽減と品質、生産性の向上を実現)</li> <li>・リフレッシュタイム導入による組織活性化・生産性向上</li> </ul>	    
	ダイバーシティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外子会社管理職、役員に現地スタッフの登用</li> <li>・リモートワークの導入やITを活用した業務効率化により、多様な働き方を推進</li> <li>・海外子会社現地スタッフへの技術・知識の共有</li> </ul>	  

## これまでの活動

ESG	取り組み 課題	主な活動	関連するSDGs
ガバナンス (G)	社外取締役 の構成	独立社外役員において、取締役3名、 監査役2名を登用。 (男性：3名、女性：2名)	  
	取締役会に おける多様性	国籍問わず、様々な分野で活躍 している人材を、取締役や経営幹部に 積極的に登用。	

# 參考資料

---

## 事業別所在地別売上高（為替要因除外前期比）

（百万円未満切り捨て）

工業用マシン事業		中国	日本 その他アジア	米州	欧州	合計
当2Q	売上高(百万円)	1,679	5,899	2,139	738	10,456
	前期比(%)	+1.2	+48.6	+73.2	▲10.5	+36.0
	為替要因除外 前期比(%)	▲11.3	+31.6	+51.6	▲13.5	+20.7
前2Q	売上高(百万円)	1,659	3,968	1,234	825	7,688

（百万円未満切り捨て）

オートモーティブ事業		中国	その他 アジア	米州	合計
当2Q	売上高(百万円)	1,102	1,054	735	2,892
	前期比(%)	+17.5	+68.7	+132.1	+53.8
	為替要因除外 前期比(%)	+3.0	+47.6	+103.5	+34.8
前2Q	売上高(百万円)	938	625	316	1,880

## 為替の影響 (2023年3月期第2四半期連結売上高ベース) 単位：百万円（百万円未満切り捨て） （為替レート、比率、原価率除く）

通貨	JPY	USD	EUR	RMB	MXN	当期実績	為替要因除外	前期実績	為替要因除外前期比
期中為替レート	—	¥123.17	¥134.52	¥18.98	¥6.08	—	—	—	—
前期期中為替レート	—	¥107.76	¥129.97	¥16.64	¥5.33	—	—	—	—
差額(円)	—	15.41	4.55	2.34	0.75	—	—	—	—
売上高	496	8,597	738	2,781	735	<b>13,349</b>	11,815	9,568	2,246
比率(%)	3.7	64.4	5.5	20.8	5.5	100.0	—	—	—
<b>為替影響額</b>	<b>—</b>	<b>1,075</b>	<b>24</b>	<b>342</b>	<b>90</b>	<b>1,534</b>	—	—	—
売上原価	583	2,482	19	4,995	571	<b>8,651</b>	7,654	6,594	1,059
比率(%)	6.7	28.7	0.2	57.7	6.6	100.0	—	—	—
<b>為替影響額</b>	<b>—</b>	<b>310</b>	<b>0</b>	<b>615</b>	<b>70</b>	<b>997</b>	—	—	—
販売管理費	986	992	125	614	73	<b>2,792</b>	2,577	2,258	318
比率(%)	35.3	35.5	4.5	22.0	2.6	100.0	—	—	—
<b>為替影響額</b>	<b>—</b>	<b>124</b>	<b>4</b>	<b>76</b>	<b>9</b>	<b>214</b>	—	—	—
営業利益	<b>▲1,073</b>	5,122	594	<b>▲2,828</b>	90	<b>1,905</b>	1,583	715	867
<b>為替影響額</b>	<b>—</b>	<b>640</b>	<b>20</b>	<b>▲349</b>	<b>11</b>	<b>322</b>	—	—	—
売上原価率(%)	—	—	—	—	—	64.8	<b>64.8</b>	<b>68.9</b>	—

# 会社概要

---

## 企業理念

人と技術を通じて、よりよい製品・サービス・品質の提供に取り組み、社会の発展に貢献すること。

## 経営基本方針

- 世界の人々と交流を深め、信頼される企業活動を展開します。
- ペガサス・テクノロジーを究め、世界品質のものづくりを目指します。
- 常にお客様から学び、ニーズを形にし、サービスや情報の提供に最善をつくします。
- 関係先、社員との信頼関係を築き、互いの成長発展のために努力します。

# 会社概要



会社名	ペガサスミシン製造株式会社
代表者	代表取締役社長執行役員 美馬成望
創業	1914年（大正3年）1月
所在地	大阪市福島区
資本金	22億5,555万円（2022年3月末現在）

売上高 204億9,836万円（2022年3月末現在）

従業員数 1,521名（連結2022年3月末現在）  
200名（単体2022年3月末現在）

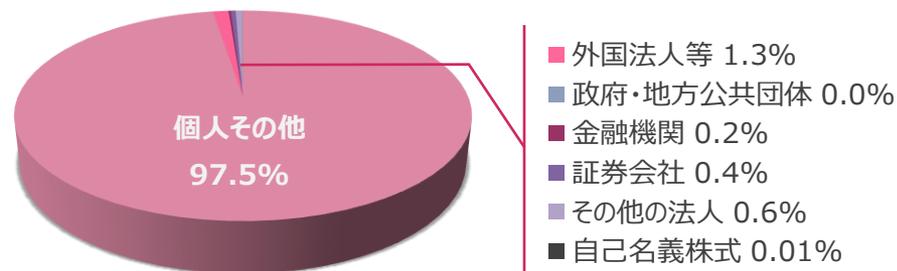
事業内容  
・工業用環縫いミシン及び部品の製造・販売  
・自動車用ダイカスト部品を始めとする自動車用部品の製造・販売

## 株主状況 2022年9月末時点

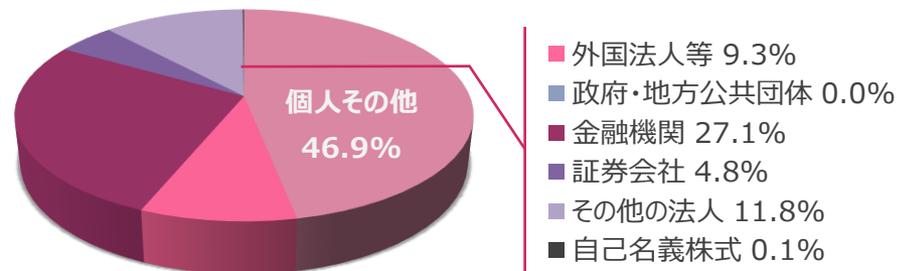
### ◆大株主の状況

株主名	割合
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	10.86%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10.28%
株式会社美馬	6.26%
株式会社三井住友銀行	3.35%
板東敬三	2.99%
吉田隆子	2.86%
美馬成望	2.54%
J Pモルガン証券株式会社	1.98%
美馬正道	1.91%
田村真子	1.49%

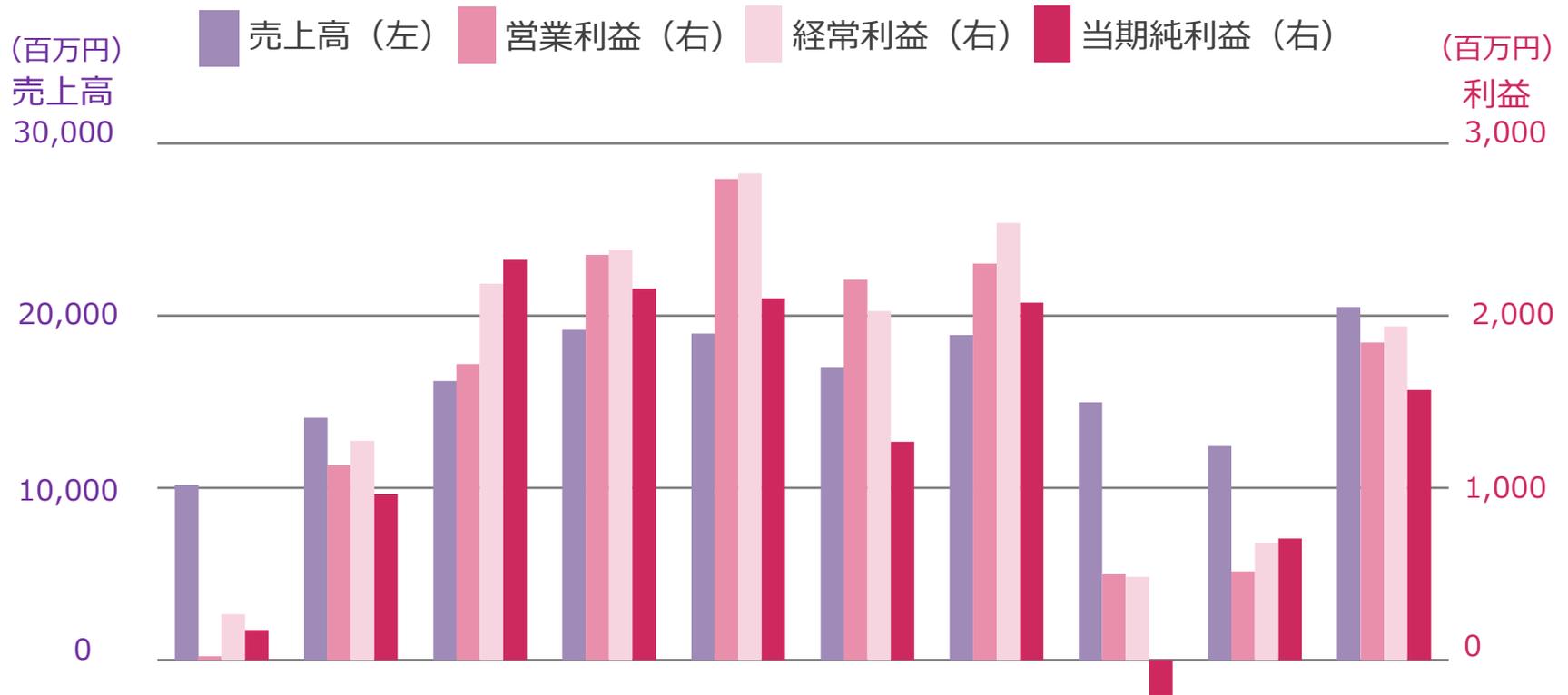
### ◆所有者別比率(%)



### ◆所有者別持株数比率(%)



# 連結業績推移



(単位：百万円)

	2013年 3月期 (67期)	2014年 3月期 (68期)	2015年 3月期 (69期)	2016年 3月期 (70期)	2017年 3月期 (71期)	2018年 3月期 (72期)	2019年 3月期 (73期)	2020年 3月期 (74期)	2021年 3月期 (75期)	2022年 3月期 (76期)
売上高	10,170	14,067	16,206	19,188	18,961	16,978	18,891	14,969	12,422	20,498
営業利益	21	1,118	1,723	2,356	2,798	2,212	2,306	499	516	1,847
経常利益	266	1,260	2,189	2,388	2,831	2,030	2,542	484	681	1,941
親会社に帰属する 当期純利益	174	953	2,328	2,160	2,103	1,270	2,079	▲206	707	1,572

2023年4月1日、ペガサスミシン製造株式会社は  
「株式会社 P E G A S U S」へ生まれ変わります。



**PEGASUS®**

## 本資料お取扱上のご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点における入手可能な情報及び将来の経済環境の予想に基づき作成しており、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。当社は、本資料の情報の正確性などは何ら保証するものではありません。